

受講生の感想

平成24年6月6日 昌平中学校3年生 刑事模擬裁判員裁判

◆ 弁護人チームの受講生 ◆

- 私が弁護人の役割で一番悩んだことは、何を強調すれば、裁判員が納得してくれるか考えることです。あまり自信は無かったけれど、上手くいったのでよかったです。弁論が始まる前は、「これで被告人の人生を左右するんだな」と思って少し緊張してしまいました。
- 今回の体験で一番緊張したのが、質問しているときの質問が矛盾していないかどうかということです。今回は執行猶予4年の刑に処されましたが、自分は執行猶予なしで懲役5年がよいかと思われます。いくら殺す気がなかったとはいえ親殺しは重罪だと思います。自分が弁護人チームではなく検察官チームだったら、実刑をきっちり勝ち取りに行きました。
- 証人尋問での質問が思うようにいかなくて本当に大変でした。
- 難しかったことは、何を言えば被告人の有利な方向へ持っていけるかを考えることです。実際にやってる裁判を見てみたいと思いました。弁護人の方に注目して、どんな質問をして被告人を弁護しているのかを知りたいです。
- 僕が裁判官だったとしても、僕は執行猶予を付けたいです。被告人は前から介護を頑張っていたし、今回は事故だからです。今度傍聴する裁判で役に立つといいと思いました。
- 僕は懲役5年の方が年金がもらえるまで安定した生活ができるので、その方がいいと思いました。
- 証人への質問が浅かったような気がしたので、もう少し深くいく必要があったと思いました。自分が検察側だったら、懲役3年で執行猶予なしを求刑したかもしれないです。人を殺してしまったら殺意はなくても殺人なので罪を償ってほしいと思いました。
- 被疑者の悪い所を見つけるのは簡単でも、良い所を見つけるのはとても難しく、大変でした。
- どのような質問をしたら有利に裁判できるか考えることや、一つ一つの話キーワードまたはパーツとしてその場で考えることが難しかったですが、その中でも面白味がありました。もう一度（何度も）模擬裁判をやりたいです。弁護人だけでなく検察官役や裁判官役もやってみたいからです。
- 被告人への質問で、どうやったら執行猶予付きの判決を裁判員に下してもらえるのかということが難しかった。
- 今回は弁護人をやりましたが、弁護人だからではなくても執行猶予に賛成していたと思います。
- 実際の裁判では、判決を下す前に長い時間をかけて慎重に話し合っていることを知り、とても印象に残った。
- 今回の体験で、弁護士って難しいと思った。被告人の態度が悪くて、途中で弁護する気がなくなりました。
- 初めての模擬裁判にしては、けっこううまくできたなあと思いました。質問は、考えてきたのでは少ないと思いいアドリブでやったりしてなんとか執行猶予をつけることができ、めちゃくちゃうれしかったです。

◆ 検察官チームの受講生 ◆

- 中立的な立場になって自分の感情的な気持ちなしで人を罰するのは思ったより大変でした。
- 尋問する相手に質問した時、想像してたのとは違う答えが返ってきたのでパニック状態でした。一番の攻撃ポイントを逃してしまったりしました。
- どうやったら自分たちが有利になるのかを考えなければならなかったもので、なかなか良い案が出ず、時間がかかって大変でした。本番では、弁護人の質問が予想以上にしっかりとっていて、結果的には実刑判決を取ることができませんでした。
- 弁護側の質問は奥が深く、自分たちも見習わなければならないと思いました。

- 楽しみにしていた模擬裁判は、楽しかった。でも、裁判員になった方がよかったと少し思った。なかなか実刑にする理由を探すのが大変でした。あと、被告人に「あなたは刑務所行きです。」と言うのはつらいだろうし、責任のある仕事だと思った。
- 質問をしたときに、自分の考えていたことが返ってこなくて、焦って臨機応変に対応できなかった。本物の検察官の人たちはすごいと思った。
- 今回は模擬ということで、たいしたことないと思っていましたが、その場の空気はすごいものでした。被告人を有罪にしようとする質問を考えることはとても良い経験をしたと思います。できれば弁護の方もやってみたかったという自分がいるのは、きっと裁判というものがそれほど興味深いものだったということでしょう。

◆ 裁判員の受講生 ◆

- 私は将来法律に関わる仕事に就きたいと思っていたので、この模擬裁判をずっと楽しみにしていました。裁判官と裁判員の評議ではそれぞれの意見が違って判決を導き出すのが大変でした。今回の結果はすべての人が納得できたかどうかは分からないけど、自分では公正で納得できる判決だったと思っています。
- 私が模擬裁判を通して感じたことは、人を裁くということがこんなにも重大で、被告人の人生を大きく左右する、そんなことがわかりました。ニュースや想像だけではわからなかったことが見えてきました。
- 裁判を何度か見たことはありましたが、実際に体験してみるととても大変な事なんだなと思いました。将来大人になって裁判員になったら、今回の模擬裁判のことを参考にしてみたいと思った。
- 裁判官を体験してとても印象的だったのが、法服を着たことと、裁判員全員でやったあの白熱した会議です。

◆ 全体的な感想 ◆

- 一番最初にびっくりしたのは、ステージが本格的だったところです。それに、証人とか被告人の役の方の演技がとても上手でした。
- 裁判が全体的にすっごく長かったです。最後の方はほとんど意識が飛んでいたと思います。
- 裁判をすると聞いた時は、ちょっとした遊びかと思ったけど、とても本格的なものでびっくりしました。
- みんな演技が上手くて、すごい緊張感が伝わってきました。
- 被告人等の演技を見て、ニュースなどに出てくる裁判の絵では伝わらない緊張感が伝わりました。
- 被告人の態度が悪くて、正直空気が重くて驚いた。裁判長の追い討ちが激しくてきつかった。
- 今回の模擬裁判で、みんな一丸となって意見を尋問としてぶつけ合うという大切さを学びました。みんな極度に緊張していてほとんど言いたいことが言えなかったと思うけど、外から見るとなんとなく正義感があふれ出しているように感じました。今回はかなり良い体験をさせていただいたなあと思います。
- 模擬裁判は、授業で話を聞いたけど実際にやったことはなかったし、実際にできるのは貴重な事だと思う。
- 今回裁判をやって、検察官、弁護人、裁判官のそれぞれの役割がわかったのでよかった。
- 模擬裁判は楽しかったけど、実際にやっているような感じでけっこう緊張しました。僕たちがやった検察官や被告人なども、まるで本番そのものだったのでこれもびっくりしました。
- 今まで裁判を見たことがなかったので、初めて知ることが多くてびっくりしたけれど、面白かった。裁判をするのは事前にやらなければならない事がたくさんあり、大変だなと思った。でも面白かったので、今回の反省を踏まえて、機会があったらもう一度やりたいと思った。